

2015 2/28

タイトー創業者妻の海外遺産

相続税100億円未納

は求 族請 遺減額

ゲーム会社、タイトー（東京・新宿）の創業者の妻で、2013年12月に89歳で死去したアシャ・コーガンさんの遺産が、約200億円の海外遺産にかかる相続税約1

00億円を納めていないことが27日、関係者への取材で分かった。遺族は課税対象でないとして、減額更正の請求をしているという。関係者によると、アシ

ヤーさんは同社の元取締役で生前は都内に住んでいたが、遺産の大半は米国債などで海外にあった。相続した息子と娘はともに外国籍で、海外に居住しているという。

相続税は法改正により13年4月から、亡くなった人が国内居住者だった場合、遺族の国籍に関係なく海外遺産にも課税されるようになった。遺族側は、海外遺産を含む二百数十億円について税務申告した後、国内遺産分の相続税10億円弱のみ納付。海外遺産分の減額を求めたという。